

特別レポート

# クレジットカードローン (住宅・自動車・カード)

どうしても通したいあなたが  
やらなくてはならない

～ 3つの行動とは？ ～

ステップ行政書士法人代表 大庭孝志(行政書士)

# CONTENTS

|                         |      |
|-------------------------|------|
| まえがき                    | (3)  |
| 【その1】 自分自身をもっとよく知ること    | (5)  |
| 【その2】 自分がどう見られているかを知ること | (8)  |
| 【その3】 客観的に評価してもらうこと     | (11) |
| おしらせ                    | (12) |

## 著者紹介



### ステップ行政書士法人代表 大庭孝志(行政書士)

大学を卒業して地元金融機関に就職。

フリーター生活、地元学習塾での講師兼総務担当職員を経て、一念発起し、勉強に志し資格を得て行政書士試験に合格し大庭行政書士事務所を開設しました。

県内では数少ない法人事務所、ステップ行政書士法人に名称変更して現在に至ります。

日々の行政書士業務はもちろんのこと行政書士会の勉強会の講師や地域活動に積極的に活動しています。

## ～ まえがき ～

# あなたがやらなくてはいけない3つのこと

「どうすればクレジットカード・ローンが通るようになるのか？」

「自分のブラックリストってもう消えているのだろうか？」

クレジットカードに何度、申しんでもいつも審査で落ちてしまう。  
延滞したこともない、収入もきちんとあるのに、なぜかローンが通らない。

いろんな理由から、クレジットカード・ローンを申込みする前に諦めてしまう。  
あなたもそんなことで日常の活動に支障をきたしていたりしてませんか？

例えば、クレジットカードを持たないことのデメリット。

現在ネット上で行われているサービスのほとんどはクレジットカードで行われています。  
ネット取引は、ほとんどクレジットカードありきと思っても間違いはありません。

そのほか、

- ・ポイントをためてそのポイントで商品を購入する
- ・カードを持っている人のための割引や特典がある

などの、多くのメリットがあります。

でも実際には、自己破産した過去があるのにクレジットカードを持っている人もいれば  
延滞をしたことがないのにクレジットカードの審査に何回申し込んでも審査が通らない  
そんな人もいます。

どうしてなのでしょう？



- ・それは、何か自分にはどうしようもできない操作をされているのでしょうか？
- ・それは、普通の人にはわからない「特殊」な裏技でもあるのでしょうか？
- ・それは、そもそも自分は何をやってもダメや奴だからでしょうか？

クレジットカードやローンの審査を何が何でも通したいと思っているあなたへ。

**申し込みをするのにあたって、きちんと改善する点を改善すれば、審査が通るようになる可能性は大きくなるんです。**

では、どういった点を注意してみればいいのか？

3つの点から私なりのご説明をさせていただきます。



## 【その1】自分自身をもっとよく知ること

クレジットカードの審査・ローンの審査では一体、何を見ているのか？

実はクレジットカードやローンの審査でよく言われる3つの観点としていわゆる3Cと呼ばれるものがあるんです。

あなたの審査はまずこの観点で行われます。

### 【1つ目】Capacity (資力)

資力とはあなたの収入など、あなたの返済能力を見る視点です。

クレジットカードを発行する場合やローンを組むためには、大前提としてあなたに継続的で安定的な収入があるかどうか判断されます。

通常の判断の材料としては次の項目などが該当します。

- ・職業・・・どんな仕事をしているのか
- ・勤務先・・・どんな会社に勤務しているのか
- ・雇用形態・・・常勤か、非常勤か など
- ・勤続年数・・・何年務めているのか？
- ・年収・・・今の年収はいくらか？
- ・現在の借入額と返済額・・・現在の借入額と返済額は？...etc

### 【2つ目】Character (性格)

性格とは、返済者が返済日に延滞なく返済するかどうか性格を判断する観点です。

ようするにあなたがきちんと約束守る責任感があるかどうかを判断します。

これは、あなたの過去の借入の返済歴やクレジット利用履歴（通称：クレジットヒストリー、クレヒス）から主に判断されます。

### 【3つ目】 Capital (資産)

担保となりうる資産を参照を確認する項目です。

特に自宅などの不動産を所有している場合は、返済時の担保として考えられるため審査上は有利に働きます。

では、あなたはまず何をすべきか？

今現在のあなた自身についてわかりやすくまとめてみましょう。

- ・あなたはだれですか？
- ・あなたはどこに住んでいますか？
- ・あなたはどんな仕事をしていますか？
- ・あなたの年収と月収はどれくらいありますか？
- ・あなたはいまいくら借りていますか？
- ・あなたは今毎月いくら返済していますか？
- ・あなたはほかにカードを何枚持っていますか？
- ・あなたはカードの支払いは月にいくらくらいありますか？
- ・あなたはいま家族は何人いますか？...etc

そうやって、今現在のあなたの生活状況を再確認してみましょう。

クレジットカードやローンに通りにくい人の特徴として、実は今現在の自分の内容を客観的にきちんと把握できていない人が意外とおおいのです。

クレジットとは信用という意味。

信用してもらうためには、まず正しい自分の状態をきちんと把握することがまず第一歩。

そのうえで、申込先に対して、自分自身の現在の姿を適切に説明できることが重要なんです。

そして、もうひとつ大事なこと。

## いまあなたがクレジットやローンの申し込みをしようとする理由はなんですか？

- ・欲しいものがあって購入したい。
- ・とりあえず当座のお金が必要。

ネット取引のためにクレジットカードが必要。…etc

何をするのにいくら必要とか、こういう理由でクレジットカードが必要など、申込の目的をきちんと書き出してみましょう。



## 【その2】自分がどう見られているかを知ること

実はクレジットカード会社やローン会社等は、カードやローンの申込があると、あなたのクレジットカードの利用履歴などの情報を信用情報機関に問い合わせる流れになっているんです。

**え？信用情報機関って何？**

**そんなところに登録した覚えはないんだけど？**

もしかしたらそんな風に思われる人もいるかもしれませんね。

信用情報機関というのは、消費者の全ての信用情報が登録されています。

クレジットカードやローンの申し込みを受けたクレジットカード会社や消費者金融、銀行などの金融機関は、審査の際に申込者の信用情報を信用情報機関に登録をすることになります。

そして、信用情報機関に登録されている申込者の過去の信用情報を照会し、審査の際の判断材料にしているんです。

例えば、ある銀行のカードローンの返済を延滞している山田さんが新たに違うカード会社のクレジットカードに申し込んだ場合。

銀行は、山田さんがカードローンの返済を延滞していることを信用情報機関に登録します。カード会社では、審査の際に信用情報機関の信用情報を確認し、山田さんが銀行へカードローンの支払いを延滞していることを知ります。

カード会社は申込者の山田さんは返済を延滞している人だと判断します。

その結果、カード会社は山田さんのクレジットカードの審査に通る可能性が低くなります。

**このように、信用情報機関の情報は、加盟している全ての金融機関の間で共有されることになります。**

クレジットカードやローンの申し込みがあったらこうした信用情報機関の情報を利用した審査を行うことで、きちんと返済能力にあった適切な審査を行うことができるようになるんですね。

これまでのクレジット利用履歴や信用情報の問合せ履歴などが管理されており、申請者に過去5年間の支払いの遅延情報などが管理されているんです。

よくブラックリストは5年で消えるとかいわれるのは、この辺が根拠になっています。

ただ、「ブラックリストに載る」という言い方をしますが、実際にブラックリストというリストが存在しているわけではないんです。

「ブラックリストに載る」とは、信用情報機関に延滞情報や自己破産情報などの情報が登録されている状態のことをいいます。

支払いをしない人にはカードを発行したり、お金を貸したりしたくないですね。

だから、ブラックリストには載らないようにしないとけません。

信用情報機関には次の3つがあります。

### 株式会社シー・アイ・シー（CIC）

CIC＝クレジット会社が共同出資し設立された信用情報機関。

CICは、クレジット会社の共同出資によって設立された信用情報機関で、主に割賦販売や貸金事業・クレジット事業を営む金融機関が会員です。

クレジットカード会社は全てCICに加盟しており、その他にも割賦販売を行う携帯電話会社や貸金事業を行う消費者金融などの金融機関が加盟しています。

### 株式会社日本信用情報機構（JICC）

JICC＝クレジット会社、貸金業者が共同出資し設立された機関。

JICCはクレジット会社や貸金業者などが共同出資して設立した会社や機関が合併してできた会社で、主に貸金事業やクレジット事業を営む金融機関が会員です。

キャッシング機能のあるクレジットカードを発行しているカード会社は全てJICCに加盟しているため、ほとんどのクレジットカード会社がJICCの会員です。

## 全国銀行個人信用情報センター (KSC)

KSCは一般社団法人全国銀行協会が運営している信用情報機関で、主な加盟会員は銀行です。

クレジットカード会社でKSCに加盟している会社は少ないですが、クレジットカードを発行している銀行や、地方銀行が子会社として設立したカード会社などはKSCに加盟しています

ところで、この信用情報機関に登録されている内容については本人であれば、一定の手続きを取れば見るすることができます。

これを**個人信用情報照会**といいます。

こうして個人信用情報照会を行って「自分がどのように登録をされているか？=自分がどう見られているか」を知ることがどうしても審査を通したいあなたが、今どういう状態なのかを知ることができるのです。



## 【その3】客観的に評価してもらうこと

- 「1. 自分自身をもっとよく知ること」ができました。
- 「2. 自分がどう見られているかを知ること」もできました。

クレジットカード・ローン（住宅・自動車）をどうしても通したいあなたが最後にやらなくてはならないことは、きちんと審査が通るような申し込みをすることです。

クレジットカードの場合、カードの発行会社によって審査の基準は若干の違いがあります。

A社では通らないものがB社で審査が通るということも珍しくありません。

また、個人信用情報照会の結果、いわゆるブラックリストのなっているため、あえて今は申し込みをしないで、もう少し待ったほうが良いという判断もあるかもしれません。

クレジットカードは、発行元のカード会社によって、

- ・銀行系カード
- ・信販系カード
- ・流通系カード
- ・消費者金融系カード

などに分類することができます。

あなたが申し込みをしようとするカードがどれに分類されるかによって審査難易度が異なります。

一般に言われているのは、この中で消費者金融系や流通系カードは最も審査難易度が低く、反対に銀行系カードは審査のハードルが高めのようなのです。

**どのカードがよいかといったことや、カードの特徴などは最近インターネット上にたくさんの情報が掲載されているので参考にしてみるといいでしょう。**

しかし、実際の審査の方法や審査要領については各会社の企業秘密のようなもの。

また、その時の金融市場の事情や景気の動向に加えて、実際は個別の事情含めて与信判断が行われます。

より確実に、審査を通したいのであれば、金融知識にたけた方などに、客観的な視点から評価をしてもらうのがいいと思います。

評価はより客観的な見方をしてくれる方にやってもらうことをお勧めいたします。

## お知らせ

この特別レポートはいかがでしたか。

本書は手に取っていただいた方が、わかりやすくすぐに行動に移っていただけるよう、なるべく平易な表現、シンプルな作りにしようという前提で書かせていただきました。

ただ、クレジットカード発行やローンの申し込み後の対応には、まだまだ書き足りないことばかりでしたが紙面の都合から残念ながら全部はお伝え出来ませんでした。

ただし、今回、このレポートをご覧になっていただいた方に対して、もしご要望があれば、当社であなたの前向きな行動のお手伝いをさせていただきます。

当社が、お手伝いさせていただけることは以下の3点

### 1. あなたが「自分自身をもっとよく知る事」のためのサポート

当社の自己分析シートを使ってあなたの今の状態と何を望んでいるのかを、わかりやすくクリアーにするお手伝いをいたします。

### 2. あなたが「自分がどう見られているかを知ること」をサポート

あなたの個人情報照会のための手続きをサポートいたします

### 3. あなたの「上記1.2の客観的に評価してもらうこと」をサポート

あなたの個人情報照会の結果がより理解できるようになるために、個人情報照会の見方をわかりやすく解説します。

そのうえで、あなたの前向きな行動に役立つ情報を提供します。

もしご興味を持っていただいた方は下記までメールをください。

具体的な費用やサポートの流れについてお送りさせていただきます。

メールアドレス：info@step-office.com